

平成 29 年度

事務事業評価シート

(学校教育課)

(学校給食調理場)

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

野辺地町教育委員会

目 次

1 授業の充実	
（ 1 ） 学力向上指導員の配置	1
（ 2 ） 学力向上支援事業（人財育成助成金）	2
2 道德教育の充実	
（ 1 ） スクールカウンセラーの配置	3
（ 2 ） ふれあい教育フェスティバル（H29年度は社会教育・スポーツ課担当）	4
3 特別活動の充実	
（ 1 ） 小・中作品展の開催及び音楽交歓会の開催	5
4 体育・健康教育の充実	
（ 1 ） バイキング給食の日	6
（ 2 ） 学童スキー大会の開催	7
（ 3 ） 大会派遣費補助事業費	8
5 生徒指導の充実	
（ 1 ） 生徒指導委員会の充実	9
6 キャリア教育の推進	
（ 1 ） 職場体験	10
7 特別支援活動の充実	
（ 1 ） スクールサポーター配置の充実	11
8 エネルギー・環境教育の推進	
（ 1 ） エネルギー教育の整備【削除】	12
9 国際化、情報化に対応する教育の推進	
（ 1 ） 英語で元気な町づくり事業	13
（ 2 ） まちづくりALT派遣事業	14
（ 3 ） ICT環境整備及び活用に向けた教職員のスキル向上	15
10 研修の充実	
（ 1 ） 教職員ふるさと研修	16
11 教育環境の充実	
（ 1 ） 野辺地町立小中学校耐震化事業	17
（ 2 ） 学校施設営繕・設備保全	18
（ 3 ） 教材備品の整備	19
12 その他	
（ 1 ） 給食費の未納対策強化	20
（ 2 ） 就学援助費事業	21
12 教育委員の活動	22
13 学校支援活動	
（ 1 ） 学校支援センター（学校支援推進事業）	23
14 学校保健の取組み	
（ 1 ） 児童・生徒各種健診及び教職員特定健診	24

事務事業評価シート

施策名	授業の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学力向上指導員の配置	担当者名	木村 卓磨

事業の目的・内容	①学力向上を図るため教職員への指導及び児童生徒へ直接学習指導をする非常勤臨時職員（学力向上指導員）を1名配置する。活動内容としては、小・中学校へ訪問指導するほか、中央公民館にて中学生を対象とした土曜日学習会を開催する。 ②小学校の外国語活動においてALTの補助を行う非常勤臨時職員（ALT補助員）を1名配置する。活動内容としては、小学校の英語の授業において、ALTの補助をする他、担任への指導及び助言を行う。			
事業の対象	教職員及び児童生徒。			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	1,585 千円	2,226 千円	3,496 千円

事業の実績・成果等（数値）	①学力向上指導員 ・学校訪問指導（町内小学校） 実施回数延べ123回 ・土曜日学習会（中学生対象） 参加者人数延べ75人 ・放課後学習会（小学生対象） 4月～2月（原則各校週一回） ・夏休み学習会 小学校9回（3校合計） 中学校8回 ②ALT補助員 ・小学校訪問回数114回			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	学力向上指導員の授業参観では、授業内容に対し細かな指導がなされており、教員の指導力向上に繋がっている。全国学力テストの結果も前年と比べ、概ね向上している。2020年の英語教科化に向けて実施している外国語活動（年間授業時間：1・2年5時間、3・4年15時間、5・6年50時間）において、学級担任及びALTと連携して授業を進めており、当町の英語教育の重要な役割を担っている。今後、教員に対し本事業に対するアンケートを実施し、内容を改善していきたい。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
	A	B	C	B	B	B	

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

指導員が頑張っておられるが、1人だけでなく複数の指導員を配置してお互いに情報交換しながら指導した方が、指導に偏りが生じなくてよいのではないかと。指導される先生方も、参考意見として指導員の意見を聞けばよいと思う。参加者が増えない原因の調査を行ってはどうか。

評価委員意見(平成29年度)

学力向上指導員については、きめ細かな指導に向けて、先生方の指導力の向上に繋がっていると思う。ALT補助員の配置は、学校からの要望だとしても、一度ALTから、補助員がいることで授業がやりやすいのかやりにくいのかを聞いた方がいいと思う。子どもたちは助けがあるとその人を頼ってしまう傾向があると思う。英語の時間は、どっぷり英語につかるということが必要だと思うが、補助員が出すぎていたりしていないか。

事務事業評価シート

施策名	授業の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学力向上支援事業（人財育成助成金）	担当者名	木村 卓磨

事業の目的・内容	町内の高等学校に在籍している生徒のうち、国公立・県立大学の入学試験を受ける生徒を対象に、長期休業中を利用して民間の学習塾が実施している短期講習会を受講する経費（受講料、交通費、宿泊費）を、町から助成金を交付する事業。 目的は、生徒の学力向上、町内高等学校の進学率向上とそれに伴う高校の魅力づくりを図ること。			
	事業の対象 町内の高等学校に在籍している生徒。			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	276 千円	1,349 千円	1,900 千円

事業の実績・成果等 (数値)	①【期間】平成29年7月23日～7月28日	【場所】河合塾仙台校
	【人数】2人（野辺地高等学校3年生）	【金額】201,680円
	②【期間】平成29年12月26日～12月31日	【場所】河合塾仙台校
	【人数】野辺地高等学校1年生2人、2年生5人	【金額】775,300円
③【期間】平成30年3月28日～3月31日	【場所】特訓予備校養成ゼミナール	
	【人数】野辺地高等学校2年生7人	【金額】371,864円
※本事業を利用したH29年度卒業生5人のうち、3人が国公立大学に進学した。		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	H28年度に比べ、参加者は増加した（H28：3人→H29：16人）。今後、本事業の更なる発展に向け、学校とより共通理解を図っていきたい。 H30年度から、短期の海外語学留学についても補助対象とすることとしており、国際社会に対応するグローバル人財の育成にも努めていく。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	B	B	B	A	C

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

参加者3名は少ない、周知不足。高校側と連携をとって参加者を増やして欲しい。
よい事業なので、取り組み方でもっと効果がでると思う。

評価委員意見(平成29年度)

3人が国公立大学に進学しているのはすごいと思った。
予算に余裕があれば大学のオープンキャンパスへの参加にも、対応できるようにしてはどうか。オープンキャンパスに参加することで、大学進学への意識が高まるのではないかと。
逆に講師を野辺地町に呼んで、図書館等で夜に学習させるなどして、夜の家庭での勉強の仕方を学ばせるのもいいと思う。ただし、無料ではなく、ある程度参加費をもらってやる方が、モチベーションも高まると思う。

事務事業評価シート

施策名	道徳教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	スクールカウンセラーの配置	担当者名	富吉 卓弥

事業の目的・内容	いじめや不登校児童生徒の問題行動等の対応にあたっては、学校におけるカウンセリング等の機能の充実を図ることが重要な課題となっており、このため、専門的な知識、経験を有する「スクールカウンセラー」を配置することで教育相談体制の充実を図るものである。		
事業の対象	野辺地小学校、野辺地中学校 1名配置		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等(数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算については、県費負担。 ・ 配置拠点校及び配置人数は1名。 ※野辺地中学校は年間40日、野辺地小学校は年間12日の配置。 ・ 述べ相談者数は、野辺地中学校95名、野辺地小学校24名。 ・ 相談内容としては、不登校や家庭環境についての相談が多い。 ・ 平成30年度は、若葉小学校にも配置。(年間12日間)
---------------	---

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている <input type="checkbox"/> おおむね達成できている <input type="checkbox"/> 達成できてない			
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	○生徒だけでなく保護者からも相談があり、また、教職員から家庭環境についての相談が多く、改善を図っている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
	—	B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

不登校の生徒が増えていると感じる。カウンセラーの増員や相談施設の設置など県費だけでなく、町費でも対応するなどニーズに対応して欲しい。

評価委員意見(平成29年度)

本事業は県の事業であり、町の事業の対象にはならないと思ったので評価は無しとしたい。ただ、来ていただくことはとても助かっていて、いいことだと思う。(H30年度からは、教育相談室を設置しているため、次年度以降は評価項目の内容をそちらに変更する予定である。)

学校では非常に助かっている。不登校や家庭環境の相談に加えて、特別支援の子どもたちの保護者の相談も多い。配置されている方もとてもいい人で、このまま続けてほしい。子どもだけでなく保護者の相談についても充実させてほしい。

事務事業評価シート(H29社会教育・スポーツ課にて評価)

施 策 名	道徳教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	ふれあい教育フェスティバル	担当者名	富吉 卓弥

事業の目的・内容				
事業の対象				
事業費	年 度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金 額	161 千円	千円	千円

--	--	--	--	--

事業 の 評 価 (自 己 評 価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	

自己評価	#N/A
------	------

評価説明及び 考察、課題				
-----------------	--	--	--	--

事業の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了			
------------	--	--	--	--

事務評価委員の評価

		高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H27参考
総合評価	—	—	—	—	—	—	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

自分の子供の出番が終わると、皆、帰ってしまう。
 最後まで観客が帰らないような魅力ある企画にしてもらいたい。
 人と人とのコミュニケーションが深まるような体験型のイベント
 も含めて行えば、事業の目的(ふれあい教育)にも合致したものになる。
 家族とのふれあいだけでなく、参加した第三者ともふれあいが深まる。

評価委員意見(平成29年度)

学校教育課、社会教育・スポーツ課及び図書館が交替で担当している。
 平成29年度は、社会教育・スポーツ課が担当のため、そちらに記載されている。

事務事業評価シート

施策名	特別活動の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	小・中学校作品展の開催及び音楽交歓会の開催	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	小中連携事業の一環であり、特に音楽交歓会においては、幼稚園や高等学校と交流する機会を設けたりしている。			
事業の対象	町内の幼児、児童生徒			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	60 千円	50 千円	60 千円

事業の実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展については絵画・版画合わせて291作品から入賞作品179点が選ばれた。学年が上がるにつれて成長する表現力や個性が審査員に評価され、集中力やものごとの見方・感じ方を育てることに繋がった。 ・音楽交歓会については、野辺地小学校の体育館を会場に各小学校5・6年生、中学校吹奏楽部が発表を行った。また、今年度初めての取組として野中吹奏楽部の演奏によって参加者・観客全員で「野辺地町民歌」を斉唱した。
-------------------	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	児童生徒の芸術的感性が培われるとともに、地域住民への町の子どもたちの活動発表の場となる。		
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

発表の場があるだけで、子供の意欲と先生の指導力の向上になる。
一団体だけでもプロフェッショナルの団体を呼んで、本物の音楽に触れる機会があれば良いと思う。

評価委員意見(平成29年度)

プロの団体が一つでもあればよりよいのではないかと。やはり、一流の音楽を聴かせてあげたい。
野辺地中学校の演奏を、小学生が聴くことができる非常にいい機会だと思う。

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校給食共同調理場
事務事業名	バイキング給食の日	担当者名	寺澤 いづみ

事業の目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バイキング方式での給食を通して、主食・主菜・副菜をバランスよく、自分で選ぶ能力を身に付け、苦手な食べ物にもチャレンジする気持ちを促す。 ・マナーを学ぶことができ、若小と馬小児童の顔合わせになることから修学旅行の事前学習として役立てられていると考える。 ・出前授業を行い、食育指導の実施する。 			
	事業の対象 バイキング給食：小学校5年生（若小・馬小合同） 食育指導：小中学校児童生徒			
事業費	年度	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算
	金額	30千円	—千円	—千円

事業の実績・成果等（数値）	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による食育指導は、小・中学校全てで実施できた。 （指導状況） 野辺地小学校 9回 馬門小学校 3回 若葉小学校 9回 野辺地中学校 3回 <ul style="list-style-type: none"> ・バイキング給食は、小学校5年生を対象に実施し、給食で実施していないメニューを実施した。 			
---------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】児童がバイキングを楽しみにしており、栄養士の食育指導により、嫌いなメニューも食べるようになった児童もあった。 【課題】バイキングは種類が多くなければならず、コストがかかる。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見（参考：平成28年度の評価意見）

とても楽しい企画だと思う。
 材料も野辺地産の食材を使って、郷土料理も盛り上げていってはどうか。

子供たちはとても楽しみにしている。
 子供たちはとても楽しみにしている。
 何を食べるのか勉強になる。
 修学旅行の際のバイキングの練習になる。

評価委員意見（平成29年度）

すごく素敵な取り組みだと思う。実際に参加してみたい。
 子供たちはとても楽しみにしている。
 何を食べるのか勉強になる。
 修学旅行の際のバイキングの練習になる。

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学童スキー大会の開催	担当者名	吹越 麻衣子

事業の目的・内容	①町内の学校の冬季体育（学校スキー）交歓を通して、運動能力の向上を図る。 ②大会参加を目指して練習・努力する過程を通して、人間性の育成を図る。 ③ルールに従い培った能力を表現する活動を通して、正しい競技参加能力を育てる。			
事業の対象	小学4年、5年、6年生			
事業費	年度	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算
	金額	274千円	287千円	287千円

事業の実績・成果等（数値）	教育振興会主催の事業であり、運営に係る費用は町からの補助金となる。 使い途としては、主に児童を送迎するためのバス借上料が約半分を占める。				
	○参加児童数の推移（4年、5年、6年生の合計）				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(推定)
	野辺地小学校	182人	170人	159人	142人
	若葉小学校	110人	103人	107人	114人
	馬門小学校	24人	26人	21人	21人
	（合計）	316人	299人	287人	277人

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	スキー発祥の地として、本大会は町の伝統の一つであり必要性は高い。しかしながら運営面において、保護者や役場職員等の協力が不可欠であり、また近年、悪天候での開催により児童の健康が心配されることから、児童減少に応じた大会規模の検討及び大会実施のギリギリ且つ早急の判断が必要と思われる。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	A	B	B	A	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

スキー大会があるだけで、子供たちの励みになる。
手伝いをする人が高齢化しているので、若い人を巻き込んでもらいたい。
保護者が協力するにも、平日だと難しい。

評価委員意見(平成29年度)

広報などで周知をしてはどうか。保護者やOBの中には、手伝いたくてもどこに問い合わせたらいいのか分からずにいる人が結構いる。広報などで事前に手伝いのお願いや実施の周知をして実施すると平日でも来てくれる人はいると思う。

事務事業評価シート

施策名	体育・健康教育の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	大会派遣費補助事業	担当者名	吹越 麻衣子

事業の目的・内容	小中学校の部活動、スポーツ・文化活動において大会へ参加するための交通費や宿泊費等を補助する事業であり、保護者の負担を軽減するとともにスポーツ・文化活動の振興を図るものである。			
事業の対象	小中学校、スポーツ少年団など			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	4,602 千円	4,458 千円	5,348 千円

事業の実績・成果等 (数値)	各種協会やスポ小の全国大会規模での活躍が目立ってきており、第2の横濱汐莉氏、柴崎岳氏を目指す一助となっている。 ・中学校・・・19大会 3,792,853円 ・各種協会・・・5大会 390,047円 ・小学校・・・0大会 0円 ・スポ少・・・2大会 274,536円			
-------------------	---	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	保護者の中からはより充実した補助を望む声も上がるなど、事業の必要性は高くある。 指導者の資格取得に繋がる事業ではあるものの、資格取得にかかる費用の補助などはないため、今後協議が必要。		
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

		高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
総合評価	A	A	A	B	A	A	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

指導者の資格の取得について、予算を付けて欲しい。
 決算書を提出してもらうなど、補助金の使い道を明確にしておけばよいと思う。

評価委員意見(平成29年度)

この事業は、力はあるが色々な大会に参加したいが、金銭的に参加が難しい子どもを援助するという意味を持っていると思うので、とてもいい事業だと思う。ただ、一つ気になるのが、どうしても競技に偏りが見られる。しかしその分、スポーツ少年団や体育協会などに、上手に対し援助をしていると思う。
 保護者にとってはとてもうれしい事業だと思う。

事務事業評価シート

施策名	生徒指導の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	生徒指導委員会の充実	担当者名	木村 卓磨

事業の目的・内容	○小・中・高で連携し問題行動のある子を指導見守りしていく体制を整える。 生徒指導委員会活動費 10千円		
事業の対象	小・中・高生徒指導教諭・警察・上北教育事務所・教育委員会・健康づくり課		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	10 千円	10 千円
			平成 30 年度予算
			10 千円

事業の実績・成果等(数値)	平成29年6月～平成30年1月 年5回生徒指導委員会を開催。 小学校・中学校・高校・警察・上北教育事務所・教育委員会・健康づくり課の職員で情報交換を行い、児童生徒の問題行動に関し情報共有することにより、問題解決に町ぐるみで取り組んだ。 夏祭り期間の巡回指導や、交通安全運動に合わせて登校指導の実施や中1ギャップの解消として、アンケートを実施し1日入学で説明した。		
---------------	--	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	○学校、教育委員会、警察等情報の共有ができ、問題行動に町ぐるみで取組み成果を上げた。 ○中1ギャップの解消として、児童にアンケートを実施し、すべての質問に対し回答を用意し、1日入学の際に、中学校生活について説明を行った。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
	B						

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

中1ギャップの解消など情報交換の場として、重要である。
夏祭りの見回りは、学校にいる時とは違う子供の姿、表情が見える。
親達や町民が、子どもを見守っているとのサインになり良い。

評価委員意見(平成29年度)

小・中学校で足並みを揃えて取り組んでいるのがいいと思う。
様々な機関と連携が取れており非常に良い。

事務事業評価シート

施策名	キャリア教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	職場体験	担当者名	富吉 卓弥

事業の目的・内容	キャリア教育を目指し、社会に出てから実践に役立つ経験をするため町内事業所に協力してもらう。		
事業の対象	中学校3年生、小学校2・6年生		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>野辺地中学校：11月に職場体験を実施。</p> <p>町内事業所約32事業所で職場体験を行い、学校外で仕事を体験したり、普段気が付かない仕事などの裏側を体験し、事業所の方からのアドバイスをうけながら貴重な体験をしている。</p> <p>野辺地小学校：9月に6年生が職場体験を実施した。</p> <p>若葉小学校：10月に2年生が生活科の授業の中で町内7事業所を訪問した。</p>
---------------	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	役場でも職場体験を積極的に受け入れ成果を上げた。今後もキャリア教育は、重要と思われるので、現在は学校が主体で実施しているが、町ぐるみで取り組みも検討していきたい。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	A	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

事業所の分野を広げたら面白いのでは。
観光協会へも来てほしい。

学校現場は忙しいので先生方が各事業所にアプローチするというのは大変なので、例えば委員会のほうで職場体験を受け入れてくれる事業所をリストアップしてくれるとか、そういうのがあれば良いと思う。

児童生徒から体験する職場の希望をとって抽選から漏れてしまった子どもに対して、自分の希望と違う職場へ行ってしまったとき、逆に良かったという気持ちになればよいなあと思う。

もっと町ぐるみで協力者を募ってほしい。

評価委員意見(平成29年度)

小学校の場合は、学校から商業協同組合に依頼しているが、町では、より広く事業所への依頼をお願いしたい。

事務事業評価シート

施策名	特別支援活動の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	スクールサポーター配置の充実	担当者名	木村 卓磨

事業の目的・内容	発達障害をもつ児童生徒や学校生活に適応が困難な児童生徒に対し、教職員の補助として見守り等に関わる。			
事業の対象	児童生徒			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	11,838 千円	12,892 千円	14,551 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○配置人数の推移					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	野辺地小学校	2人	1人	3人	3人	3人
	若葉小学校	3人	1人	2人	3人	3人
	馬門小学校	1人	1人	1人	2人	3人
	野辺地中学校	2人	1人	2人	2人	2人
傾向として見守りが必要な児童生徒、問題行動を起こしやすい児童生徒、落ち着きが無い児童生徒が年々目立ってきている傾向を感じる。						

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	学校側からの様々な予算要求の中でも、このスクールサポーターは強い要望がある。H30年度も増員している。あくまでも、先生の補助としての役割りであるが、スクールサポーター向けの研修などを企画して資質向上を図れればと思う。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

これからも学校の状況に合わせて人員の配置をお願いしたい。

評価委員意見(平成29年度)

学校の要望に応じていただきありがたい。
経験などにより、スクールサポーター間で能力差がある。全体の資質向上のための取り組みを行ってほしい。

事務事業評価シート

施策名	エネルギー・環境教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	エネルギー教育の整備	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	理科の授業を始めとするエネルギー教育の充実を図るため、備品購入を整備する。			
	原子力や風力等のエネルギーについて理解を深め、自ら考え判断する力を身に付けるための教育の充実を図る。			
事業の対象	児童生徒			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	394 千円	497 千円	- 千円

事業の実績・成果等 (数値)	今年度より町地域戦略課の事業に移行したため廃止。			
-------------------	--------------------------	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない

自己評価	#N/A
------	------

評価説明及び 考察、課題	
-----------------	--

今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了
------------	--

事務評価委員の評価

総合評価	—	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		—	—	—	—	—	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

<p>備品の納入まで時間がかかり、やっと来ても報告書に手間がかかる。 学校で素早く利用できるようにしてもらいたい。 備品のリストを作り、各校で共有して使える仕組みをつくれれば良いと思う。</p>

評価委員意見(平成29年度)

<p>平成29年度から地域戦略課の事業に移行したため削除 評価なし</p>
--

【削除】

事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	英語で元気な町づくり事業	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	英語指導を行う外国語指導助手（ALT）の派遣事業。小学校からの英語コミュニケーション能力育成により中学校への円滑な移行を図るとともに、幼少期からの英語指導により英語教育に順応しやすい児童生徒の育成を図る。		
事業の対象	児童生徒及び幼児、一般町民		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	4,601 千円	4,551 千円
			平成 30 年度予算
			10,487 千円

事業の実績・成果等（数値）	<p>ALTを各小・中学校、野辺地保育園、野辺地カトリック幼稚園及び公民館等へ英語指導に配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各幼保小中への配置による英会話や異文化理解指導。 イングリッシュデイの開催。（12月16日 小中学生13名参加） 幼児への英会話体験及びその親への英語教育支援の実施。（毎週1回）
---------------	---

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<p>各小中学校及び保育園や幼稚園での指導の他、一般町民や親子での英語教室でも指導を行い、世代を問わず英語に触れる機会の提供ができた。</p> <p>また、イングリッシュデイ等を通して異文化理解のきっかけとなる機会を作ることができた。</p>		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	B	C	B	B	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

<p>非常勤で指導者も入っているので、非常にありがたい。</p> <p>町中に英語があふれてくれば良い。将来、英会話ができれば良い。</p> <p>町民一丸となって英語に慣れ親しむ国際化になってほしい。そういう足がかりとってほしい。</p> <p>もっと身近に感じれるようになってほしい。</p> <p>ALTのサポートがほしいところ。</p> <p>さらに充実を図ってほしい。</p>

評価委員意見(平成29年度)

<p>参加人数が少ない。</p> <p>知らない人が多いので、もっと啓発活動をしてほしい。大々的にPRしてもいいと思う。一部の人たちでやっている感じがある。</p> <p>年齢の幅を広げて、もっと町民が参加できるようなものになっていけばいいと思う。</p> <p>イングリッシュデイについては、チーム野Openなどの団体とコラボレーションしてはどうか。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	まちづくりALT派遣事業	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	英語指導を行う外国語指導助手（ALT）の派遣事業。中学校への常駐により中学生の英語学力の強化を図る。また、就労者向けの英検対策教室での指導等により、大人の英語力強化を図ることでまち全体として国際化に対応し得る人財を育成する。			
事業の対象	児童生徒及び幼児、一般町民			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	4,594 千円	4,546 千円	0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	<p>ALTを野辺地中学校へ常駐させ、生徒との授業内外での交流を増やすことで中学生の英語への抵抗力の軽減を図った。主な活動は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して中学校へ常駐し、授業や日常生活でALTと児童生徒が交流 ・社会人向け英会話教室の実施（毎週1回） 			
-------------------	--	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<p>本ALTは既存のALTの役割に加え、まち全体として英語に親しめるような取組を行う人材として委託している。小学校での外国語活動からの継続や中学校での常駐により、外国人や英語に対する壁は年々低くなっているものと思われる。</p> <p>また、今年度より社会人向けの教室はより英会話を重視したものとした。</p>		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

<p>担当者を増やして、より活性化して欲しい。</p>

評価委員意見(平成29年度)

<p>参加人数が少ない。 英会話教室をやっている時間は、教室の外の人にも分かるような看板等を設置したり、ロビー等のオープンな場でやってみたりして、宣伝してみてもいいと思う。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	国際化、情報化に対応する教育の推進	担当課名	学校教育課
事務事業名	ICT環境整備及び活用に向けた教職員のスキル向上	担当者名	杉山 拓

事業の目的・内容	文部科学省が、平成30年度以降におけるICT環境の整備方針の中で、学習者用コンピュータについて、1人1台を望ましいとしながらも、3クラスに1クラス分程度の配置を想定することが適当との方針を示した。 また、新学習指導要領の中で、各教科におけるICTの適切な活用について規定されたため、ICT環境の整備を進めるとともに、研修等を通じて教員のICT活用スキルの向上も図るものである。		
	事業の対象 教職員及び生徒など		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
		39,701 千円	0 千円
			平成 30 年度予算 0 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○教育ICTシステム フォローアップ研修
	6月：フォローアップ研修アンケート実施 8月：フォローアップ研修実施

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input checked="" type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	タブレット端末をはじめICT機器の使用が進まないのが現状である。ただ、「とにかく使えば良い」というものでもなく、効果的な使用が求められるわけで、今後、実際の授業での活用に向け、研修のあり方を再考していく必要がある。また、ICT支援員の導入についても考える必要がある。 いずれにしても、学校教育課指導室とも連携し、ICT活用を進めていきたい。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	C	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		C	C	C	B	C	C

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

専門知識を持った指導者を配置することが必要だ。
 宝の持ち腐れにならないよう、次に活かして欲しい。
 この次の対応が重要だ。

評価委員意見(平成29年度)

現場の声を吸い上げて、研修等に反映させてほしい。
 実際に授業で使う教員が感じている不便さ等を解消してほしい。
 野小では、PC室が職員室にある棟にあり、そこではネットにつながるが、教室棟ではつながりにくいので、そういう部分も改善してほしい。
 六ヶ所村では、ICT支援員が村内の学校を回り、授業に入ってサポートしている。
 指導員というよりは、授業に入ってサポートをしてもらえるような補助員を、曜日毎に各学校に配置してもらえれば、教職員がより使いやすい状況になると思う。

事務事業評価シート

施策名	研修の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教職員ふるさと研修	担当者名	木村 卓磨

事業の目的・内容	着任された教職員の方に野辺地町をよく知ってもらうことで、今後の児童生徒の学習指導に活用されることを目的とする。		
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教諭等として新たに任用された職員（初任者） ・ 野辺地町に初めて着任した教職員 ・ 5年以上野辺地町を離れていた教職員 		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	2 千円	2 千円
		平成 30 年度予算	2 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○視察場所	歴史民俗資料館、行在所、常夜燈公園、漁協、十符ヶ浦海水浴場、農協、あったかハウス、松浦食堂（郷土料理：茶飯定食）
	○講師	歴史を語る会 会長 鈴木幹人 教育委員 野坂幸子

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	現在の研修内容は野辺地町の歴史や産業にスポットあてているが、観光スポットや飲食店の紹介等、野辺地町に興味を持ってもらえるような内容を検討したい。		
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		A	B	B	B	A	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

<p>参加した先生たちが良かったと言っていたのでよし。</p>

評価委員意見(平成29年度)

<p>大変楽しい内容となっている。 松浦食堂の郷土料理は、今では大変貴重なので、ぜひ継続してほしい。 松浦食堂さんはお年を召しておられるので、将来を見込んで、逆に若い町民の方に郷土料理を覚えてもらって、松浦食堂以外にも作ってもらえるような人たちが増えればいいなと思う。</p>
--

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	野辺地町立小中学校耐震化事業	担当者名	吹越 麻衣子

事業の目的・内容	平成27年度に町内小中学校の構造体（建物）の小学校耐震化工事を実施し、平成29年度に講堂の天井等非構造部材の耐震化及び照明のLED化を実施した。事業実施により校舎及び講堂の安全が確保され、講堂のみではあるがLED化により光熱費の削減が期待される。			
事業の対象	各小中学校			
事業費	年度	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算
	金額	11,413千円	120,871千円	－千円

事業の実績・成果等（数値）	平成29年度内訳			
	① 野辺地小学校講堂天井等耐震化建築工事	28,296,000円		
	② 野辺地小学校講堂天井等耐震化電気設備等工事	8,079,476円		
	③ 若葉小学校講堂天井等耐震化建築工事	19,990,706円		
	④ 若葉小学校講堂天井等耐震化電気設備等工事	8,002,800円		
	⑤ 馬門小学校講堂天井等耐震化建築工事	15,336,000円		
	⑥ 馬門小学校講堂天井等耐震化電気設備等工事	5,907,600円		
	⑦ 野辺地中学校講堂天井等耐震化建築工事	29,542,882円		
	⑧ 野辺地中学校講堂天井等耐震化電気設備等工事	5,715,360円		

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか。）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input checked="" type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	各校及び児童生徒、保護者の協力を得て事業を完了することができた。このような大規模改修を前に統廃合の実施を検討すべきであったという声もあるが、いつ起こるか分からない大地震から子どもたちの命を守ることを最優先とし、また、避難所等としての利用を考えると本事業の有効性はあった。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
	B	A	B	B	B	B	

評価委員意見（参考：平成28年度の評価意見）

これが評価項目に何故あがるのか分からない。

評価するならC、夏休みに工事を持ってこられなかったこと、学校側の我慢に成り立っている。評価は低い。マイク使わなければダメなくらいだった。

先日の台風で校舎が雨漏りしたという話を聞いた耐震とは関係ないが、まだまだ改善しなければいけないと思う。

町外の業者が施工していたことが残念、町の運営を考えれば地元業者を使ってほしい。

私は評価できない。

町内の業者を関わらせるような工事の進め方をして欲しかった。

評価委員意見（平成29年度）

無事終わりましたので特になし。

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校施設営繕・設備保全	担当者名	吹越 麻衣子

事業の目的・内容	教育施設の維持管理及び修繕工事を実施し、安全・安心な学校づくりを目指している。		
事業の対象	各小学校		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	3,185 千円	2,590 千円
			平成 30 年度予算
			3,808 千円

事業の実績・成果等 (数値)	1. 実施工事		
	① 野辺地小学校和式トイレ改修工事		324,000円
	② 若葉小学校普通教室床改修工事		626,400円
	③ 若葉小学校玄関ドアホン取付工事		159,840円
	④ 若葉小学校職員玄関電気錠工事		321,840円
	⑤ 野辺地小学校中庭整地等工事		256,950円
	⑥ 野辺地小学校A棟2階西女子トイレ改修工事		313,200円
	⑦ 野辺地小学校階段手摺取付工事		587,520円

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分必要である	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	限られた予算の中で児童の安全を最優先に改修等を実施している。 改修にも限度があるものもあり、全小学校施設における老朽化への対応策が課題となっている。		
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	B	C	B	B	C

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

担当者が予算の少ない中、一生懸命に現場に足を運んで対応している。以前に調理実習や理科の実験で電気を使った時に、ブレーカーが落ちた学校があったが、これからも支障のないよう対応してもらいたい。今後も現場の意見を吸い上げて継続してもらいたい。優先順位を付けて対応してもらいたい。

評価委員意見(平成29年度)

トイレの洋式化を進めてほしい。
トイレの臭いを何とかしてほしい。保護者からも要望が出ている。いくら芳香剤を置いてもなかなか解消できない。換気扇をつけてほしい。
トイレ関係の改修については、お金が掛かることなのでなかなか難しいと思うが、少しずつでも対応してほしい。

事務事業評価シート

施策名	教育環境の充実	担当課名	学校教育課
事務事業名	教材備品の整備	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	毎年度実施 教育課程にもとづき授業を実施するうえで、児童・生徒の心身の向上や能力向上のための備品を購入するもの。また、既存備品が古くなったり、故障や破損して使えなくなったりする場合の修繕等をおこなうもの。			
事業の対象	教員及び児童・生徒			
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算
	金額	4,355 千円	4,098 千円	2,398 千円

事業の実績・成果等(数値)	野辺地小学校710,448円(一般備品等69,552円、教材備品等547,800円、特別支援用備品93,096円)、若葉小学校531,628円(教材備品等512,188円、特別支援用備品19,440円)、馬門小学校620,917円(一般備品等197,218円、教材備品等418,056円、特別支援用備品5,643円)、野辺地中学校1,227,960円(一般備品等724,680円、教材備品等503,280円) 楽器1,217,040円(若葉小学校、野辺地中学校) 毎年11月末の来年度当初予算編成へ向け、各小中学校が必要な備品を取りまとめ教育委員会へ提出。教育委員会は学校が要望した備品について担当者から聞き取り、必要性を検討、精査してから町部局へ予算要望している。			
---------------	---	--	--	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	各校とも学校整備に要する備品や授業等に要する備品の劣化や損壊があり、備品費の増額が余儀なくされている。学校備品の管理に関して、昭和54年に作成された管理要項しか存在しないため、学校事務の協力を得て備品管理規程、様式統一、データ管理用リストを整備中。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
	A	B	B	B	B	B	

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

今ある備品を長く使えるように、管理状態を良くしてほしい。
 備品のリストを作り、各校で共有して使える仕組みをつくれれば良いと思う。

評価委員意見(平成29年度)

昨年と同様で、備品のリストを作り、各校で共有して使える仕組みをつくれれば良いと思う。(平成30年度において整備中。)
 祭り日の楽器についても、劣化が激しいものもあるので対応してほしい。

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校給食調理場
事務事業名	給食費の未納対策強化	担当者名	橋本 幸子

事業の目的・内容	学校給食費の滞納額を減少させる。		
	<ul style="list-style-type: none"> 過去の未納者からの徴収。（昭和63年から）特に平成25年度から重点的に解消する 児童手当からの引落しを了承してもらい未納額減少に努める。 要保護世帯は、学校長から上北県民局に納付を依頼し、年度末に全額徴収する。 準要保護世帯は、給食費を免除。 		
事業の対象	小・中学校の給食費未納世帯 87世帯149人 滞納額 20,538,530円 昭和63年度から平成29年度未納世帯		
事業費	年度	平成28年度決算	平成29年度決算
	金額	165千円	226千円
		平成30年度予算	265千円

事業の実績・成果等 (数値)	徴収対策 時間外手当 16,500円/年 日中の徴収が可能な家庭は、時間内実施		
	<ul style="list-style-type: none"> 毎月 電話催促、臨戸訪問による徴収、納付書の送付。 7月に催告書の送付 児童手当からの引落とし強化の結果 2,342,750円の給食費を児童手当から引き落した。 新1年生は「給食利用申込書」の中に「児童手当から引落しを承諾する」の1行を加える。 (給食費をおさめれないときは、児童手当からの引き落としをしてもよい。の承諾書) 		
	調定額	41,421,760円	収入額41,304,210円＝未納額 117,550円
	徴収率	99.7% (H29)	(H30.6.11で平成29年度未納額 0円)

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できている	<input type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	成果 平成29年度 滞納徴収額 2,721,370円 H5からH28まで うちH25～H28滞納収入額 462,190円 75.4% 年度末滞納額17,817,160円 課題 不能欠損処分ができるよう今後対策を考える。 保護者が死亡したり、住所不明者の徴収不能滞納額が多くある。		
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

過去の滞納の解消は仕方ないが、現在はきちんと対策ができています。

評価委員意見(平成29年度)

電話催促、臨戸訪問は大変だと思う。御苦勞あると思うが今後もお願いしたい。 学校としても非常に感謝している。他町村では学校の教職員が徴収しているところもあり、教職員の負担が軽減されている。 徴収するための工夫がすごい。 古いものに関してはどこかで区切りをつけてもいいと思う。

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	就学援助費事業	担当者名	小又 美穂

事業の目的・内容	経済的な理由で町立小・中学校への就学が困難な家庭及び特別支援教室等で就学している児童生徒世帯への就学援助		
事業の対象	野辺地町内小・中学校		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	7,467 千円	7,953 千円
			平成 30 年度予算
			7,984 千円

事業の実績・成果等(数値)	要・準要保護就学援助費及び特別支援就学奨励費 (小学校) 3,469,040円、 (中学校) 4,483,198円 経済的な理由で町立小・中学校への就学が困難な家庭が、安心して教育を受けられるように、給食費、学用品費、通学用品費、新入学児童生徒学用品費、校外活動費、修学旅行費、体育実技費などを援助する制度。
---------------	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	援助費の支給や県への申請、要綱の改正など滞りなく行った。 補助対象となった保護者の申請への気苦労を軽減できるよう、各校事務担当と連絡を密に取りながら事業を行っている。 学校事務や民生委員等の事務処理の負担を軽減するため、また申請から認定に係る時間を短縮するため簡略化・明確化をさらに進める必要がある。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

実状にあった継続をお願いしたい。

評価委員意見(平成29年度)

前年度と同じで、実状にあった継続をお願いしたい。

事務事業評価シート

施策名	その他	担当課名	学校教育課
事務事業名	教育委員の活動	担当者名	富吉 卓弥

事業の目的・内容	教育施策についての承認、及び学校教育に関する意見、議案の審議等を行う。学校訪問や行事に参加することにより、各学校の現場の状況を把握する。		
事業の対象	教育委員・学校教育課長・補佐		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	626 千円	529 千円
			平成 30 年度予算
			397 千円

事業の実績・成果等 (数値)	<p>毎月定例会を開催、教育委員会の行事報告・予定 議案審議等を話し合う。また、教育問題についての話し合いなどがあった場合議題にする。</p> <p>※教育委員の参加行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小、中、高等学校入学式、卒業式へ参加。 ・小、中、高等学校運動会及び各種行事等へ参加。 ・小、中、高等学校へ学校訪問（小、中は2回、高校1回） ・総合教育会議へ参加。（年2回） ・音楽交換会や学童スキー大会及び各学校の行事へ参加。 ・東北六県教育委員・教育長研修会や全国教育委員研修会への参加。
-------------------	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の行事へ積極的に参加された。 ・県内教育委員研修会のほか、東北や全国の研修会に積極的に参加し、学校の問題解決（いじめ問題や教師の多忙化など）に向け熱心に議論できた。 ・教育委員の活動内容について、教育広報やホームページで紹介するなどの工夫が必要と考えられる。 		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
	B	B	C	B	B	C	

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

教育委員の議論した教師の多忙化問題やいじめ問題に対する対策を明確に示していただきたい。新しい対策やアイデアを出す場として、機能していただきたい。

例えば、不登校児童対策として、フリースクールの設置などアイデアを出して欲しい。フリースクールは、いきなり学校に復帰が難しい児童に対して、遊びの場、学習の場、工作等作業の場、コミュニケーションの場を提供するもので、学校や家庭が安心できる場所にならない児童に居場所を提供し、自信をつけさせる効果がある。

評価委員意見(平成29年度)

研修等に参加してもらうのはいいが、その成果があまり見えないと思う。教育委員の意見が町民にも分かるようにしてほしい。教育委員の募集は、町の広報で何回か見たことはあるが、報告は見たことがない。広報や掲示物などで少しでも報告してもいいと思う。そうすれば、次の教育委員の募集の際にも、活動内容を理解している町民が応募してくると思う。教育委員の方々がどのような権限をもっているか分からないが、教育委員の意見だけで物事を進めるのではなく、学校の意見を汲み取ってから、決定してほしい。

事務事業評価シート

施策名	学校支援活動	担当課名	学校教育課
事務事業名	学校支援推進事業	担当者名	富吉 卓弥

事業の目的・内容	学校が地域と一体となって子どもを育む、地域とともにある学校づくりを目指す。地域住民による学校支援活動の充実と一層の活性化を推進する。		
事業の対象	各学校		
事業費	年度	平成 28 年度決算	平成 29 年度決算
	金額	69 千円	72 千円
			平成 30 年度予算 68 千円

事業の実績・成果等 (数値)	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティア活動を各学校ごとに実施 登下校の指導(見守り隊) 部活動の指導、図書の整理や読み聞かせ、環境整備 などさまざまな学校支援活動を地域の住民等の参画を得て実施した。
-------------------	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	学校ボランティアに登録している方には、町費によりボランティア保険に加入しており、見守り隊に対しては、寒さ対策としてホッカイロを提供している。登下校の指導を行っている見守り隊の登録者が減少しているので、確保に向けた取り組みが必要。		
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

ボランティアの方々など非常によく活動してくださっている。
冬は防寒着など購入してあげてはどうか。
PTAの関係者だけでなく、元PTAの人たちにも協力を求めてはどうか。
コミュニティー(地域)の人たちも巻き込んで、PTC(コミュニティー)Aで対応してはどうか。

評価委員意見(平成29年度)

ボランティアの方がいること自体は学校として非常にありがたい。
ボランティアの人数が減少してきており、人集めが大変である。
ボランティア登録している人は、ある程度いるが、実際に活動している人は限られている。
ジャンパー等の備品が、自治会長が持っているなどして、眠っている状態のところもあるようなので、一度回収して、活動している人に回せるようにしてはどうか。

事務事業評価シート

施策名	学校保健の取組み	担当課名	学校教育課
事務事業名	児童・生徒各種健診及び教職員特定健診	担当者名	杉山 拓

事業の目的・内容	学校保健安全法第13条に基づき実施し、児童・生徒・教職員の健診等により適正な健康管理を行い、健康で充実した学校生活を送るため実施する。			
事業の対象	児童、生徒、教職員及び次年度就学予定の幼児			
事業費	年度	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算
	金額	3,552千円	3,673千円	3,560千円

事業の実績・成果等(数値)	<p>児童・生徒の健診について、内科、歯科、耳鼻科、眼科、尿検査を学校医等により全学年を対象に実施。心電図検査は小学1・3・5年生、中学1・3年生を対象に実施。貧血検査は、保護者からの同意を得られた小学5・6年生・中学2・3年生を対象に実施。色覚検査と運動器検査の実施も含め、すべて6月末までに終了した。</p> <p>教職員健診は、1日ドック・1日健診決定者以外の教職員を対象に健診を7月に一斉に実施した。その後は、欠席者に対し随時実施し、延べ50名に対して実施した。</p> <p>就学時健診は、来年度小学校に入学する幼児を対象に10月に実施した。延べ77名に対して実施した。</p>
---------------	--

事業の評価(自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分必要である	<input type="checkbox"/> おおむね必要である	<input type="checkbox"/> あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> おおむね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむねできている	<input type="checkbox"/> できていない
自己評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	<input type="checkbox"/> 達成できている	<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できている	<input type="checkbox"/> 達成できていない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	<p>病気の早期・発見に繋がっていると同時に、生活習慣の見直しのきっかけとなっている。昨年度、オージオメータ(聴力検査機器)を新しく買換え、適切な検査が出来るようになった。</p> <p>今後、検査の際に必要な備品等をもう一度見直し、検査・健診料の予算確保をする。</p> <p>また、養護教諭と協力し、教職員健診の早期の全員実施を促す。</p>		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	高田委員	柴崎委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H28参考
		A	A	B	B	A	B

評価委員意見(参考:平成28年度の評価意見)

医師の対応など学校教育課の職員が気を使って対応していただいている。必ずやらなければならない健診なので、評価するか難しい。評価からはずしてもよいのではないかと。精度の高い健診を目指して欲しい。

評価委員意見(平成29年度)

特になし。